

令和7年11月28日

大河原町議会議長 丸山 勝利 殿

総務産業常任委員会
委員長 佐藤 暁



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

- 開催の日時 令和7年11月6日(木)
10時00分から12時00分
- 開催の場所 委員会室及び現地
- 出欠委員の氏名
出席委員 佐藤 暁史 遠藤 勇耶 須藤 慎
秋山 昇 大沼 忠弘 今野 智志
欠席委員 佐久間克明
- 説明のため出席した者の職氏名
商工観光課長 佐藤 朗博
" 課長補佐 佐藤 和彦
地域整備課長 佐藤 史明
" 技師 小笠原 岳斗
- 議会事務局の出席職員の名氏名
議会事務局長 木村 武俊
" 局長補佐 山口 真由美
" 主事 佐藤 邦彦



6. 所管事務の調査事項

- (1) 桜複数品種育成調査・苗木育成業務について
- (2) 白石川右岸河川敷等整備の進捗状況について

7. 調査の結果及び意見

(1)

1. 調査の目的

大河原町では、開花時期の異なる複数品種の桜を組み合わせ、約1か月半にわたり桜を楽しめる名所づくりを目指している。そのため、以下を目的として生育調査・苗木育成業務を実施している。

- ・地域気象に適した品種の選定
- ・品種ごとの開花時期の違いの把握
- ・樹形・花色・花芽の成長の違いなど、観賞価値の調査
- ・町内植栽に必要となる苗木・枝木の育成

桜の名所づくりに向けた基礎データを蓄積し、中長期的な植栽計画に活かすことを狙いとしている。

2. 樹木医意見

①白石川堤一目千本桜における、染井吉野の現状

- ・本来であれば、染井吉野は10月頃まで葉を保持しているが、現地調査では明らかに早期落葉が進んでおり、樹木が強いストレスを受けている。
- ・現在の土壌環境は水分保持が極めて不十分であり、樹勢の低下が進むと、倒木の条件が揃っていると判断される状況にある。
- ・このまま適切な対策を行わない場合、3年から5年のうちに、並木の一部が枯死し、桜並木が歯抜け状態になる可能性が高い。
- ・苗木育成業務は順調であり、病気や害虫の被害はない。
- ・近隣の畑ではイノシシによる農作物被害があるが、圃場での被害は無い。

3. 委員意見、まとめ

- ・桜の延命策と歯抜けになった時の対策を今から始めていかねばならない
- ・圃場の柵がネットのみだが、近隣の鳥獣被害を考えると、ワイヤーメッシュ柵など強靱なものが好ましい。
- ・尾形先生一人に頼り切っている。後継者も探す必要がある。
- ・育てた桜の活用方法が未定。早期に新しい名所作りを検討しなければならない。



(2)

1. 目的 「賑わい交流拠点施設」盛土造成工事の進捗確認
 - ・金ヶ瀬さくら大橋のたもと約 5.6ha に、スポーツ施設や交流施設
の他、地域の防災拠点施設の機能を備えた「賑わい交流拠点施設」
の整備を行うため、土台となる盛土造成工事を行っている。
2. 担当課説明より
 - ・11月1日時点での全体の進捗率は41.5%
 - ・盛土量 31,000立米 (38,300立米予定)
 - ・調整池のコンクリート打設に着工し12月中の完成予定
3. 委員意見、
 - ・来園車両の導線がしっかり確保できている。一方で130台分の
駐車場では不安。
 - ・造成地から白石川を見たときに、中洲の植生が生い茂り景観が悪
い。植生の伐採や中洲の浚渫が必要。

